

## 海外安全対策情報 平成27年度第3四半期

### 1 社会・治安情勢

- (1) 10月21日午後、バトケン州において、鉱山内で一酸化炭素中毒により、作業員3人が死亡した。
- (2) 10月21日午後3時ころ、オシュ市内の大学において、留学生間の乱闘事件が発生した。22日、警察は、留学生12人を拘束したと発表した。
- (3) 11月2日、警察は、イシククリ州において、住民登録を怠ってキルギス国内に滞在していたとして、トルクメニスタン国民を逮捕した。4日、警察は被疑者に罰金100,000ソムが課されたと発表した。
- (4) 11月14日、内務省第10総局及びオシュ市内務局第10課は、オシュ州ノーカット市在住の19歳の被疑者をオシュ空港において逮捕した。被疑者はキルギス領内での不法活動の実現を最終目的として、オシュ市及びオシュ州の市民のリクルートと、テロ団体の一員としてシリアとイラク地域における戦闘行為へ参加させるために同地域へリクルートした市民を派遣することに長期間関わっていた。
- (5) 11月22日、オシュ空港において、アヴィア・トラフィック航空のクラスノヤルスク発オシュ行のボーイング737便がオーバーランをして数名が負傷した。
- (6) 11月26日、当地トルコ大使館前において、市民活動家十数人が、トルコによるロシア軍戦闘機撃墜事案に抗議し、トルコとの外交関係断絶を求めるデモを実施した。
- (7) 12月2日午前10時ころ、ビシュケク市内の最高裁判所前において、キルギスソム安に起因する、米ドル立て融資で負債額が増加した市民らによる抗議集会が実施された。
- (8) 12月7日、オシュ州の国境地域において、許可なく立ち入り写真撮影していた日本人旅行者が国境警備隊に身柄拘束された。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生し、銃器薬物関係犯罪の発生も多い。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

#### (1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 9月19日、バトケン州アク・サイ地区において、民家において20,000ソムを強奪する強盗事件が発生し、10月9日、警察は被疑者5

人を逮捕したと発表した。

イ 9月21日、チュイ州アラメディン地区レベジノフカ村において、現金1,500ドル及び携帯電話を強奪する武装強盗事件が発生し、10月9日、警察は被疑者2人を逮捕したと発表した。他にも共犯被疑者がいるとみられ、警察は残りの被疑者の行方を追っている。

ウ 10月12日午後0時ころ、イシククリ州カラコル市において3人の遺体が発見され、10月13日、警察は被疑者を逮捕したと発表した。

エ 11月2日午後7時30分ころ、ビシュケク市アフンバエバ通りとシャブデンバアトウ通りの交差点付近において、タクシー運転手をガラス瓶で殴打し、現金3,000ソムを強奪する強盗事件が発生し、4日、警察は被疑者2人を逮捕したと発表した。

オ 11月5日夜、オシュ州ノーカット地区において、ガソリンスタンドが襲撃され、現金3,000ソム及びガソリン60リットルが強奪された。同日、内務省は被疑者3人を逮捕した。

カ 11月19日午後8時ころ、ビシュケク市マイクロライオン地区において、職務質問中の警察官1人が殺害された。

## (2) 邦人被害

認知していない。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

### (1) テロ事件

ア 10月2日午前、国家安全保障委員会はチュイ州アラメディン地区カラ・ジガチ村において、ビシュケク市内でのテロ行為を準備していた過激派組織のメンバーとみられる男を拘束した。同委員会によると、被疑者は、7月にビシュケクでのテロ殲滅作戦で拘束された被疑者らが属していた集団のメンバーであり、同作戦で摘発されたテロ集団と関係があったことが判明した。被疑者は、同作戦の際に逃亡した国際テロ集団のメンバー2人のうちの1人だとの疑いがある。被疑者は、9月のイスラム教の祝日である「犠牲祭」の際にテロ攻撃を行う計画を立てていたとみられている。

イ 10月11日午後11時30分ころ、チュイ州イシク・アタ地区ニージュニー・ノルス村に所在する第50番矯正施設から、宗教過激主義及びテロ容疑で有罪判決を受けた受刑者を含む9人の囚人が脱走した。10月23日までに、脱走被疑者9人全員が殺害又は逮捕された。

ウ 10月21日、国家安全保障委員会は、オシュ市において、テロを計画していたとしてキルギス国民を逮捕した。被疑者は国際テロ組織との

関係を認めている。

エ 11月26日午後6時45分ころ、著名な宗教学者が何者かに襲撃され、重傷を負った。30日、被疑者がトルコにおいて身柄が拘束された。

オ 12月11日、国家安全保障委員会広報は、ビシュケク市における対テロ特殊作戦により、戦闘員2名が殲滅されたと発表した。

カ 12月28日、内務省第10総局は、過激宗教組織の37歳の支持者を射殺したと発表した。

## (2) 爆弾事件

認知していない。

## 4 誘拐・脅迫事件発生状況

### (1) 誘拐・脅迫犯罪の一例

ア 11月7日、オシュ市において、身代金目的誘拐事件が発生し、8日午後5時ころ、警察が被疑者2人を逮捕した。

イ 12月10日、ビシュケク市ペルボマイスキー地区において、男子児童が誘拐された上、150,000ソムの身代金を要求する誘拐事件が発生し、12月11日、被害者の遺体が発見された。同日、警察は被疑者を殺人容疑で逮捕した。

### (2) 邦人被害

認知していない。

## 5 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。(丁)